

〔保健福祉部 土塔中央保育所 所管〕

03020401 土塔中央保育所運営事業

決算書P. 239

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	68,209	60,223	△ 7,986	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	35,727	22,497	△ 13,230	保育所入所負担金(現年度分)
一般財源	32,482	37,726	5,244	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

保育を必要とする未就学児に対して、保護者に代わり、健全な生活の場と、人間形成の基礎を築くことができる保育を提供することにより、心身の安定した生活と健全な成長発達を図る。

また、保護者に対して児童を安心して預ける場所を提供するとともに、育児に関する情報提供や相談対応を行うことにより、就労と子育ての両立を支援する。

【今年度の取組】

保育士不足解消に向け、引き続きハローワークへの依頼、ホームページ、広報をはじめとする周知のほか、保育士募集ポスター作製によるPR等を実施した。非常勤職員の採用に成果を得ることができた。次年度においても引き続き、保育士の確保に努めていく必要がある。

安全環境の保証については、昨年に引き続き、クラスのエアコンの交換工事、園舎裏の階段の修理工事、門扉の交換、児童のトイレの便器の修繕、乳幼児のベビーカー購入等を行い、安全な保育環境を保障した。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
保育所での生活を楽しみ、健やかに育つことのできた子どもの割合(保護者アンケート結果)	%	100.00	100.00	100.00	100.00
保育所施設は安全性が高く、子どもを安心して預けられることができたと思えた保護者の割合(保護者アンケート)	%	100.00	100.00	100.00	100.00

【成果の動向】

施設や備品等老朽化してきている中、園舎裏の階段を修理したり、門扉を新しくしたり、細かな部分での修理を行い、児童が安全に生活できる環境を整えた。北園保育所との合同保育の期間においても、職員皆で工夫をしながら質の高い保育を目指し取り組んできた。看護師の採用もあり、怪我や病気に対してのより迅速な対応ができた。保護者アンケート結果においては、高い満足度を得ることができたため、成果は向上と判断する。

【今後の事業の方向性】

正規職員保育士、非常勤保育士等、保育に携わる全ての職員において、新型コロナウイルス対策、新生活様式を踏まえた保育、公立保育所の在り方、保育手法について理解を深め、保育の質の向上に努めていく。

また、新たに栄養士の配置による食育事業の深化を図り、職員が各種の研修にも積極的に参加できるよう体制づくりに努めていく。



土塔中央保育所 ラーメン体操(運動会)